

日測協

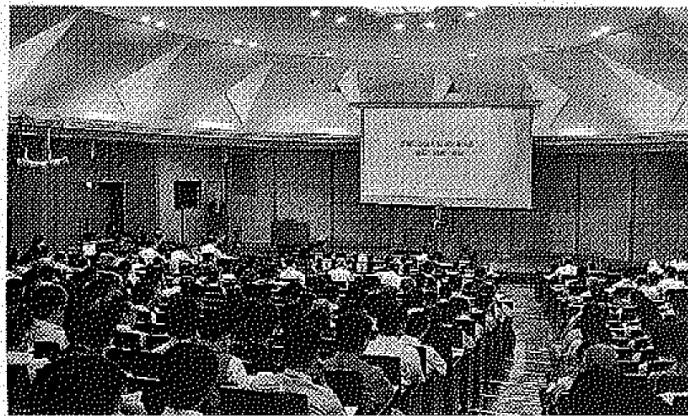
3000人参加、最新技術紹介

測量・地理
空間情報

イノベーション大会開幕

日本測量協会（日測協、清水英範会長）らによる「測量・地理空間情報イノベーション大会2026」が6月30日、東京都文京区の東京大学伊藤国際学術研究センター伊藤謝恩ホールで開幕した。写真。全国9カ所のサテライト会場にも中継し、測量関連の最新の技術動向などを紹介する。

同29日時点で約3000人が参加登録している。会期は1日まで。空間情報総括監理技術者によるスペシャリストの会（SPの会）と地理空間情報専門技術者によるジオメトリストの会（GMの会）との共催。日測協の清水会長は「最新の技術動向を学ぶ場であ



ると同時に、世代や組織を超えた交流の場としてほしい」と呼び掛けた。後援する国土地理院の中平善伸参事官は「地理院では測量資格制度の在り方検討に着手した。働きやすい環境実現のため、関係機関と密に連携する」とあいさつした。

初日には、準天頂衛星システム「みちびき」の最新動向をテーマにした内閣府宇宙開発戦略推進事務局の佐藤雄大氏の講演などが行われた。測量会社からは、測量におけるAI活用や各社の人材育成などを講演した。